

R4 講評（ 昆虫 ）の部

- ◎ 全体的に標本のつくり方が、毎年良くなっています。特に、高学年、中学生を中心に、展翅（てんし）が良くなってきています。

- 低学年において、保護者の指導が入りすぎないようにすると、その子なりの作品の良さが更に出てくると思います。

- 標本とラベルのつけ方は、向きやサイズなどを更に工夫すると良いです。

R4 講評（貝）の部

- ◎ 今年は猛暑で貝が少ない中でしたが，素晴らしい作品が多く見られました。

- 海や川，陸に生息する貝や，年間を通して継続的に採集している作品が多く見られ，感心しました。

- 標本の並べ方や目録などにも，自分なりの工夫が見られて大変素晴らしかったです。

これからも継続した研究に取り組まれることを大いに期待しています。

R 4 講評（植物）の部

- ◎ 全体的に高学年，中学生の作品がとても充実していました。年々，レベルが上がっているように感じます。
- ◎ 新聞紙をこまめに取り換えることで，発色の良い標本が多く見られました。丁寧な作品作りに感心しました。
- ◎ 各地区の学校からの応募がたくさんあり，嬉しかったです。
- 花か実の付いた植物をできる限り採集すると良いです。また，根も付けられるとより良い標本になります。
- 小さい植物を複数入れるなどの工夫もしてください。また，標本の上のパラフィン紙（うすい紙）は，必ずしも必要ではありません。

R 4 講評（ 岩石 ）の部

◎ 今年度は、岩石の種類が大変豊富で素晴らしい作品が多かったです。これは県内各地において、様々な岩石の採集ができたからだと思います。

今回の標本を審査して、気づいたことを3つアドバイスします。今後に向けて、ご参照ください。

- ① なるべく表面が新鮮（風化していない）な部分を探して採取すると、一つ一つの岩石の特徴をきちんと表現しやすくなります。
- ② 形や大きさをそろえることで、標本として見やすくなります。おすすめるは、握りこぶしぐらいの大きさです。
- ③ 採集する前にその場所について、くわしく調べ、計画を立てることで、より多くの種類の岩石収集につながります。

以上の事を参考にして、来年も楽しい標本づくりにチャレンジしてください。大いに期待しています。